

「北茨城・九条の会」に賛同を寄せていただいている方にお届けします。どうぞお知り合いにもひろげてください。また、ニュースやご意見もお寄せください。

tel 0293-42-3081 fax 020-4623-3153 mail ZY4T-SZK@asahi-net.or.jp

全国では5600団体、県内で44団体

いま全国で「九条の会」が地域別・分野別にひろがり、全国では5600団体を超え、茨城県内でも44団体に達したことが報告されています。

北茨城市にも「九条」の会をつくらうと、おもに「北茨城平和の会」の有志が準備をすすめてきました。ゆっくりとした足取りですが着々と、これまで市内で20名の賛同をいただいています。

改憲勢力も注視する九条の会

先日の準備会の会議で、次のようなニュースが話題になりました。

昨年7月、衆議院の憲法調査会が欧州調査をしたときのこと。同調査会長の中山太郎氏がポーランド下院議長に「憲法9条に関しては国民的な関心も高く、ノーベル賞を受賞した大江健

三郎という作家などは、『九条の会』という全国的なネットワークをつくって活動している」と思わずもらしたというのです。改憲勢力にとって、注視せざるをえない大きな存在として立ちあがっているのが「九条の会」だというわけです。

北茨城でも、今年のおそくない時期に、ぜひ「九条の会」をつくり、さまざまな立場や思想信条のちがいを乗り越え、平和憲法を守るという一点で住民の過半数の結集をめざして旺盛に活動をすすめようではありませんか。

市内の18寺院・教会によびかけ

いま注目されている一つが宗教者の皆さんです。分野別の「宗教者九条の和」をつくって全国の宗教者に「平和憲法を守れ」の運動を呼びかけるとともに、地域の「九条の会」づくりにも積極的に参加して大きな役割を果たしています。

北茨城(準備会)では、このほど、「北茨城・九条の会」設立への賛同を呼びかける依頼文と資料を市内の18寺院・教会に



茨城農林水産九条の会・準備会の久保田紀子さん(石岡市)の絵手紙



送りました。近日中に直接お訪ねして、「会」へのご参加とご協力をお願いすることになっています。

「シベリア抑留者の体験談を聞く会」(仮称)の開催を予定

いま安倍内閣は、日本をアメリカにしたがって海外派兵するため、憲法を改悪して「戦争をする国」に変えようとしています。その推進力になっているのは、いずれも戦争を知らない、自民党の中でも比較的若手の2世・3世議員です。

いっぽう、反戦・非戦の立場にある私たちの間にも戦争を体験していない世代が多くなっています。戦争の本当の恐ろしさ、戦争体験を語り継いでいくことが大切になっています。

先の戦争の敗戦時に中国東北部周辺にいて、進入してきたソ連軍によって拘束された日本軍兵士および軍属の多くは、シベリアに送られて強制労働を強いられました。そのなかで数万の人々が生命を落とし、生きて帰国できた人たちも言い表せないほどの苦しみを味わいました。

先日、「北茨城・九条の会」への賛同をいただいた平潟町のTさんもその一人です。市内には、数十人のシベリア抑留体験者がいるといわれます。こうした人々の体験談を聞く会を計画しようとして具体化をすすめているところです。